

自然農園だより



宮下 洋子
Hiroko Miyashita

ハウスの育苗終了後にトマト定植

雪も深い2月の初旬からハウスにビニールをかけ始まった育苗作業。昨年は小別沢で、仁木は今年が初めて。育苗用土地作りと温度管理、水管理では失敗が許されず、厳しいこの何か月間でした。苗作りは、何年たっても、本当に難しい農作業の一つです。



苗半作。小さく生んで、大きく育てる。如何に水分を抑えながら根っこを丈夫に育てるか、なかなか難しいですね。トマトは、あまりにいいじめ過ぎて育てたので、とてもみずばらしい黄色っぽい苗になりました。残った苗を販売しましたが、「植えればグングン大きくなるよ」と言っても誰も信じてもらえないようなあわれな

新築納屋完成！ありがとうございます。我満さん。

苗だったので、100円で販売しました。それでも買って頂いた方、その後いかがでしょうか？

農園では、水ももらわないのに、本当にグングン育っています。

ハウスの育苗は、毎日、毎晩目が離せない中、漸く5月過ぎで終了しました。しかし、時は一日とて待ってくれません。その後すぐの片付けとトマトの床整備と定植が待っています。



施肥設計

主人の仕事は、0-1テストによる施肥設計です。定植する土の上に、苗木や種を置きます。肥料サンプルとその原袋も置き、右手にサンプルを持ちながら、指かレーザービューで、苗や



種の対象物を示し、左手で0-1チェック。必要とする肥料の種類をチェック。20項目ほどあります。次に原袋肥料に触れて作物の圃場の広さに合わせて量目をチェック。栽培環境は、毎年毎年変わるので、常識や経験が通じません、

あくまでもその時、その場での状況によって変化するからです。自然はダイナミックに変化します。

石拾い、大変！

この圃場、明治大正時代から開かれているはずですが、未だにあるはあるは、石だらけ。先日こんなビックリするような大きい石が、畑の真ん中にありました。トラクターを痛める最大の原因です。何時になったら、除かれるのでしょうか。隣を走る余市川。70年前ころに川が氾濫し、河原の石が押し寄せたとの事。ナイル川の氾濫は、肥沃な土壤をもたらせたそうですが・・・



夜を徹して、マルチ張り

5月17日。明日から長雨。今日、マルチを張らなければ、果菜類の定植が間に合わなくなります。池田さんの帰りを遅めての男3人で夜業決行。真っ暗い中、何とかやりおおせました。一安心です。



雨の中、イチゴ定植



昨年秋に定植させ、越冬した「けんたろう」種。仁木の太野農園さんのご紹介

で銀山のイチゴ名人に苗を分けてもらいました。苗作りを止めるそうです。どちらも高齢化の波。今年雪解けの中で、ランナーが一杯張って大変。とても元気で大きな苗に育ちました。斬って隣のマルチに植え替え作業。雨降りの中でしたが、一気呵成にやらなければ中々終えません。今年は期待できそう。でも次は禽獣の害。カラスかアライグマか。防鳥ネット張りが待っています。



マッカムの花

家族も皆さんも大好きな「マッカム」のリング。でも最近は、全くと言っていいほど店に入荷しなくなりました。札幌の山の手の斎藤さんから頂いた、ただ1本の「マッカム」の苗木。薄桃色の可憐な花を付けました。毎日、台所の窓から、目で育てています。作物は、毎日主人の足音で育つと言います。



で灌水はいらないと出たからです。でも誰も一歩も引かず、曲げない。最終的には、0-1 テストに従うことに。

「まほろば農園は、0-1 テスト農法だから、ここで0-1 テストに従わなかったら、また、0-1 テスト通りにして、スイカがダメになったら、農園も、まほろばも、0-1 テストの店と言う看板を下ろさなければならないの

よ」と、私は啖呵を切った。

スイカは元気になったので、看板を下ろさなくても良くなって、主人共々ホッとしています。

定植、もう少しで終了

明日から、売り出し。定植する苗がまだ残っています。しかも明日から雨だより。この原稿を書くのは時間との勝負です。文章が雑になって申し訳ありません。



試金石! 水をやるな!!

西瓜のマルチとトンネルを苦心しながら男手で作ってくれました。50メートル3ベッドは壮観です。ところが、定植したとたんに、例年になく5月の猛暑です。室内温度が70度にも急上昇、スイカは、干からびるほどしおれてしまって、大騒ぎです。

灌水するかしないかでみんなと大激論、0-1 テストでは、上を開けて温度を下げるだけ



この健康なキャベツ

今年から初めてのマルチにキャベツ苗を植える。ほかにブロッコリー、カリフラワー。こんなきれいで立派な成りは、初めてです。お見事!! でも、

敵も陰に潜んで、これからを待つ。蝶々が植え付けた卵が孵って、穴だらけになるのでしょうか。また闘いが始まりますね(笑)。



これから野菜が一杯

これからほうれん草、小松菜の他、雑菜類が、どんどん出来て来ます。でも夏の葉物は、穴が開くので大変。どうなることでしょうか。



使い方を知れば世界が変わる「ウエラック」

随分前から使っていたマルチ穴あけ機。掘りながら苗を落して植えられる。マルチの丸いビニールゴミも出ず、^{かが}屈んでの土抑えの作業も要



らず、こんな便利なものと知らなかった。使ってみれば、こんなに工夫創意があったなんて。そういえば名前が「ウエラック」。つまり、「植えるに楽ですよー」と教えてくれています（笑）。なるほど！

目が回る「ナウエル」

名前と言えば「ナウエル」。文字通り、これも「苗を植える」です。これは、足寄の会社の発明品で良く工夫されています。一地方が全国に渡った製品機械です。毎年、種撒きだった大豆。その雑草処理がこれまた大変。今年は苗にして、自動苗植木「ナウエル」で植える。その忙しいこと、観ていて笑ってしまうほどで、その慌てぶりの姿が滑稽です。でも起こした畑に苗で植え付けるので、雑草の生え方が遅くなり、除草が楽になります。大豆の背丈より上に行く雑草は今年無くなりそうです。



新倉庫完成

正式に、5月14日に、新倉庫完成、これもひとえに我満嘉明さんのお陰。今回、一緒に仕事をして、我満さんの、自分のことを後に、人の



為に仕事を優先とする人格、その考え方、行動力に感動しました。ありがとうございました。これで旧倉庫の何時倒壊するかの恐怖から逃れることが出来ました。



造園資材、再利用

佐々木造園の佐々木社長から冬囲いの縄や竹を沢山戴く。粉碎機も貸してもらい、竹材を粉碎して、籾殻堆肥に投入。その凄まじい破壊力に、ビックリ！！籾殻堆肥に混ぜることで、一層微生物の住み家が出来ました。さぞや、心地良い事でしょう。



「あおぞら農園」さん来園

札幌小別沢の畑で研修していた佐々木良規さん。今はシリカブラックの産地上ノ国で、養豚と小豆の栽培に専念しています。ご夫妻が、来園見学に。3500 頭も飼っていると言



うからビックリ。名前も「あおぞら農園」、そこで、豚糞をもらうことになりました。動物性窒素を加えることで、籾殻もいのように発酵します。でも函館まで、トラックでは遠いな。

日泰友好大使「プリッキーヌ」

主人が2月に渡ったタイのチェンマイ。カレン族のレイジーマンコーヒー農家、スエさんの庭から頂いた激辛ミニ唐辛子の「プリッキーニ」。苗を育てて定植しました。どのように実り、広がるでしょうか。日タイ友好の絆になれば幸いです。きっと右のようなかわいい実を付けるのでしょね。(ネットから)

恭兵君、取材

毎月一回、まほろば編集部で、店内放映する撮影取材に来ます。今回は齋藤君だけで。短時間で、よくあれだけ長い画像を処理出来るなって、感心しきり。今回は「土に生きる」というテーマだそうです。①籾殻堆肥作り②ブータンの花山椒の播種③エリクサーのリハビッシュから素

材の意味合いなどなど、主人に語ってもらったそうです。ご覧になってください。

結婚式に、まほろば自然農園の野菜を飾りたい!

沖縄の自然食品店ぱるずさん。その諸喜田^{しよきた}代表から、友達の結婚式の式台に、まほろばの野菜で飾りたいという心ある思いが、農園に届けられました。ミニ大根を収穫して40cmにカットしたものを送るのです。どんな風にアレンジメントされるのでしょうか。北の空から、南の海に、祝福の風を送り届けます!!



大貫さん来園

一年ぶりに、来園された大貫妙子さん。札幌から工藤さん、大西さんと共に車で農園のボランティアに来て下さいました。主としてニンニクの草取りをお願い致しました。

ゆっくりとこれからを過ごせるのかと周りも思っていたのですが、反ってコンサートや出演が年々多くなり、やっと北海道に来れたとのこと。三枝龍生さんは「歳を重ねると



に、益々声が磨かれて良くなって来ている。これは稀なこと」なのだそうです。それは、普段から食生活に気を付けていらっしゃる大貫さんの精進が、大きいと思います。

気さくで、自分に厳しい姿勢が、今日の大貫さんの評価につながっているのだと思います。改めて、食の大切さを思います。



かわいふあ〜む

川合 浩平



こんにちは！

最近暑かったですが、体調崩しませんでしたかー？

さて、また今年も独り農業に戻ってしまったカワイです。

高田さん辞めてしまいました・・・

という事で今シーズンも超フル稼働中です。

そんな中、6月4日の高温でついに体調を崩しました。

イキナリ暑かったですもんね。

日々の疲れが溜まっているところに、身体を日焼けさせようと上調子乗って上半身裸で直射日光浴びながら作業をしていました。

昼に飲み物がきれて、作業の区切りで買いに行こうと思ったら来客・・・

終わってやっと買いに行こうとすると今度は他の畑の人に呼び止められ・・・

結局飲み物を買えたのは3時半過ぎでした。



結構ふらふらになって、夜にはドツと寒気が始まり・・・

8時半に寝て何とか次の日は持ちこたえ、夜に今この原稿を書いています。笑

早く寝ないと！

さすがにもう若くないからな〜。

と思いきや、体重計は嘘をつきません。

体重計が「オマエのカラダはハタチや〜！」と教えてくれました。

今年は例年より早く身体が絞られてきていたのも納得。

ハタチのカワイと呼んでください！笑

そしてフル稼働中なので頭でシュミレーションしながら段取りを組み、手伝ってくれる人が来るのに合わせて一人では時間がかかる作業を組んでいきます。

まあ、実際は途中で気が付いた、今やらないと手がかかる草対策や水やりをやったりするので予定通りにはいかな いのですが・・・笑

そして、シュミレーションを捨てて草取りを始めると頭を休めて没頭できるので、とてもいい

休憩になります。

ところが最近収穫も頭を休めて没頭する時間になってきています。

作業しながら休憩はいいのですが、一つ問題がありまして、草取りはやり過ぎても問題ないのですが、収穫はやり過ぎると問題です。

収穫してしまった野菜の行くアテがないのです。

先週の日曜日それをやってしまったので、取り敢えず直売所（仮）を畑に仮置きしてみました。

秘境駅的な無人直売所に



なっておりますので、知っているとかわいふあ〜むツウな感じがします。笑
 梱包などは葉物以外は袋に入れない、環境に配慮したスタイルにしたいと思っています。
 そして今は収穫が少ないので野菜が並ばないこともあります

が、もう少ししたら並べていく予定です。
 しかしまあ、人があまり通らないので売るには大変な困難がともなう予感がぬぐえません。
 それでも将来的には売れに売れて、大橋店長に「お店に野菜もってきてよ」と言われたいと思っていますがどうでしょう？笑

そして没頭する草取りや収穫の時はキャッチコピーやイベントを考えたりしています。
 「ススキノに一番近い農家が真面目に作ったヒワイなエダマメ -R 1 8 指定 いやん、こんなのはじめてー♡」
 とか
 「レタスヲハサムカイ？ 〜畑でレタスをみんなで挟もう〜」 ←これは畑でレタスサンドをやろうと思ってます
 とか、
 「農コン 〜食に興味のある男女が織りなす、野菜と出会いのフレッシュサラダ！」 ←これはイマイチ過ぎる！笑
 とか・・・。

まあ、手を動かしながらこんな事を考えて、そして一人でニヤニヤしてるんです。
 まだ企画なんですけど、マネはしないでください！

ちなみにエダマメはほぼ決まりかも・・・笑

そんなこんなでいつもお買い上げありがとうございます。
 体力と時間の許す限り美味しい野菜達を提供できるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

かわいふあ〜む、平均するとほぼ毎日誰かが手伝いに来てくれているので、とても助けられています。

しかし、来客にも対応できる人がいてくれるとありがたい！

という事で、アルバイトを1名募集しております。

やる気ある人、出来れば週5日〜6日来れる方がいらっしやると助かります。

来季も出来るという方、優先させていただきます。

我こそは、という方いらっしやいましたらご連絡宜しくお願いします。

今回は体調がアレなので、短めの箸休めになります。

また来月もお会いしましょう！

かわいふあ〜む YASAIACCA 川合

